

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	20391000201
事業所名	グループホーム一色

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し回覧板を通じて近隣住民との繋がりをもち、地域情報の収集をしている。町内会長とは付き合いも深く、何かあれば相互に相談し合い協働関係を継続させている。管理者は入居案内を地域の病院や介護支援事業所にFAXで配布し周知活動を行った。その影響で一般からの入居や介護相談の電話が複数件あり、見合ったアドバイスをして認知症専門知識を活かした役割を果たしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年6回定期開催し、事業運営に役立てている。いきいき支援センター職員、町内会長、民生委員、家族を構成員とし、今年度は対面での会議を実現し、事業報告や質疑応答、地域情報収集をして相互に協働関係を深めた。不参加の構成員にはFAXや郵送で議事録を送付し、会議開催前には各所に案内をして会議の活性化に努めている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区担当窓口には、介護保険更新等の手続で直接出向く事があるが、何かあれば電話やメールで連絡をしている。生活保護担当者とは密に相談する関係性を持ち、利用者の面会に来所してもらいホーム運営の実情を伝えている。市町村主催の研修の案内が郵送やFAXで届き、今年度の参加はないが職員のスキル向上に繋がる様、参加の検討をしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 季節ごとにホーム便りを発行し、イベント時や日常生活の様子を写真やコメントを寄せて伝えている。健康上の変化があれば即電話やメールで家族に報告し、必要に応じ家族に代わり通院等迅速な対応を行い、協力体制を築いている。利用者の意見や要望は日頃の様子や関わりから把握し、職員間で検討できる事は迅速にサービスに反映している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価				○	×	×	×	○	○	○	×
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	×	○								